

2009年3月18日

(報道用資料)

株式会社パスコ

北海道に人工衛星受信局(地球局)の整備を決定 ～日本全国をカバーする地球局ネットワークを構築～

株式会社パスコ(本社:東京都目黒区東山、代表取締役社長:杉本 陽一、以下:パスコ)はこのたび、衛星事業強化の一環として、沖縄県糸満市に続き北海道千歳市を人工衛星受信局(地球局)の整備地と決定しました。

パスコは、2007年に竣工した沖縄県糸満市の人工衛星地球局によって2007年12月から運用を開始した合成開口レーダ衛星「TerraSAR-X」の撮影データの受信を行っています。今回の北海道受信局の整備により、北緯約26度の沖縄局、北緯約43度の北海道局の2局体制となり、わが国全土をカバーした地球局ネットワークを構築します。

北海道局の整備により、防災、環境をはじめとする多くの分野における衛星活用を強化し、わが国の豊かで安心安全な社会構築に貢献します。

■経緯

パスコは、2007年12月から運用を開始した合成開口レーダ衛星「TerraSAR-X」を使って地球規模での空間情報の収集を行っています。

「TerraSAR-X」は、ドイツ航空宇宙センター(DLR)とヨーロッパの大手航空宇宙企業 EADS 社の官民連携事業で運用される衛星で、昼夜・天候を問わず地表面の情報を高精度に把握する撮影能力を有しています。パスコは本衛星の撮影データの日本国内への独占販売権と世界への販売権を保有しています。

パスコでは、2008年に発生した5月:中国・四川大地震、6月:岩手・宮城内陸地震、8月:愛知豪雨災害など数々の自然災害において「TerraSAR-X」での緊急撮影を実施し、複数の地形情報の比較から、迅速な被災状況の把握を実施しました。また、発生時の切迫性が指摘される首都直下型の大規模地震に備えて、本衛星を活用して三大都市圏と仙台市の平常時の地形情報の収集を行っています。

■北海道人工衛星地球局の整備

今回、新たに整備する北海道局の整備概要は、以下のとおりです。

設置場所: 北海道千歳市

地球局の機能: 「TerraSAR-X」の撮影データの受信

その他、地球観測衛星の衛星運用、観測データ受信が可能な機能を具備

整備計画: 2009年度より整備着手、2010年度竣工予定

■提供するサービスの概要

パスコが構築する地球局ネットワークにより、以下のサービスを提供する予定です。

1) 緊急災害情報の収集

災害発生時の情報収集を迅速化するため、北海道及び沖縄の2つの受信局を利用した地球観測衛星とのコミュニケーションを実施します。これにより、わが国における衛星とのコミュニケーション時間が最大化され、迅速な情報収集に寄与することとなります。

2) 国土モニタリング情報の提供

災害時以外の平時においても、常に国土をモニタリングし、地球環境変動を監視可能とすると共に数多くの利用分野への情報提供に寄与します。特に、北海道では流氷監視等への応用が期待されます。

■お問い合わせ先

(報道関係者様から)

株式会社パスコ 社長室広報宣伝グループ TEL:03-3715-1048

以上